

トップ > 富山のニュース > 「富山モデル」で再発防止 日医工問題受け審議 県薬事審議会 企業間の相互点検など提案

「富山モデル」で再発防止 日医工問題受け審議 県薬事審議会 企業間の相互点検など提案

社会

2021/4/21 05:00

[記事を保存](#) [切り抜き紙面](#)



日医工問題を受け、不適正な製造・品質管理の再発防止策を審議する委員＝富山市の県民会館

富山県薬事審議会の医薬品製造・品質管理専門部会は20日、富山市の県民会館で開かれ、ジェネリック医薬品（後発薬）製造大手の日医工（同市）が不適正な製造・品質管理を行っていた問題を受け、委員が再発防止策を審議した。医薬品製造企業が互いに製造状況を点検するなど「富山モデル」の品質管理体制構築を求める意見が出された。

専門部会は2回目で、医薬品関係団体の代表ら8人が意見を交わした。

県医師会の泉良平副会長は、医療事故防止のため病院間で相互に診療状況を点検しているとし「富山モデルとして（医薬品製造企業が）互いにチェックし情報を公表してはどうか。全国に広がっていく」と提言した。工場の適正な人員配置や社員教育、企業統治の点検と情報公開も求めた。

製薬企業の立ち入り検査を行っている医薬品医療機器総合機構（PMDA、東京）の元委員、清原孝雄氏は「ジェネリック大手は製造品目を増やしながらも製造や品質管理が整っていないことがあり、無理をすることに問題がある」と指摘した。

オブザーバーとしてオンライン参加した厚生労働省医薬・生活衛生局の山本剛監視指導・麻薬対策課長補佐も適正な生産体制を求めていくとし「製造品目数に合わせた生産体制の目安を案内できないか、業界と相談して検討する」と述べた。

県薬業連合会の中井敏郎会長は、医薬品の中には国の承認通りの手順では製造が難しい品目があると説明し「国内に（日医工と）同様な問題がかなり隠されていると想像する」と問題提起した。海外からの医薬品原料の調達には不安があるとし「原料から製造までの一貫生産を富山モデルにできないか」と提案した。

このほか委員からは「国のジェネリック医薬品の普及促進が性急だった」「県の行政処分は端緒の発見から1年後と遅い。調査体制を強化すべき」などの意見が出された。

専門部会は5月下旬に再発防止策などの意見を集約し、6～7月に県薬事審議会に報告する。

無断転載・複製を禁じます

[記事を保存](#) [切り抜き紙面](#)

[富山新聞デジタル](#) [お申し込み](#)

[新聞購読](#) [お申し込み](#)

「英国アンゴリアラスキンMBA」を日本で2年で取

富山新聞からのお知らせ

- 電子版「富山新聞デジタル」とは
- 電子版の使い方

毎日答えて、プレゼントをもらおう！

新聞クイズ

新型コロナ 富山県関連情報

好評発売中

夢追い日記

浜辺美波

北國新聞イベントガイド

総合ランキング

24時間 1週間

1

富山でカラオケクラスター 新たに24人感染

新型コロナ